

# 市長室：対話の記録

## 要旨

## 開催内容の公開

市長あいさつ

井上会長あいさつ・活動状況報告

意見交換

- (1)お祭り広場の整備と常設ステージの設置について
- (2)上川総合振興局裏の空き地と旧かみかわ荘の有効活用について
- (3)「永山屯田まつり」を旭川のお祭りに
- (4)永山パークゴルフ場の整備について
- (5)永山と東旭川、動物園、上野ファーム、医大を結ぶバス路線の新設などについて
- (6)「冬の生活道路を守る協働意識の向上」事業について
- (7)農業を守るために旭川市独自の農業施策が必要
- (8)まちづくり推進協議会の今後と地域住民の声が施策に反映されるための仕組みづくりについて

市長終わりのあいさつ

第59回目となる今回は、各支所所管区域内の地域住民等が、地域の課題を共有し、その解決に向けた方策を検討し、地域特性を活かした個性あるまちづくりを推進するため、平成22年度に各支所に設置された「まちづくり推進協議会」のうち、「永山まちづくり推進協議会」(井上会長)の委員の皆さんと、これまでの活動状況や今後の課題、市への提言などについて対話、意見交換を行いました。



日時	平成23年10月24日(月) 午後6時00分～午後7時00分
場所	旭川市永山公民館 中会議室 (旭川市永山3条19丁目)
相手団体	永山まちづくり推進協議会(井上静幸会長)の委員 13人 (当日の出席者11人)
出席者	旭川市長 西川将人 「永山まちづくり推進協議会」(五十音順 敬称略) 浅見仁博 石川キヨ子 井上静幸(会長) 葛西輝昭 桑島保夫 塩尻曜子 曾根勝広 辻研二(副会長) 中川幸広 南部一 山川八重子

## 対話の内容

市長あいさつ

皆さん、こんばんは。  
「永山まちづくり推進協議会」の皆様には日頃から大変お世話になっております。この場をお借りしまして感謝を申し上げます。ありがとうございます。

今日は皆様方とこの後1時間程、意見交換をさせていただき、いろいろなご意見やご提案を永山地域の地域づくり、まちづくりの参考にさせていただきたいという思いでこのような対話集会を開催させていただきました。

私が市長に就任して約5年になりますが、これまでにいろいろな団体の皆さん、また地域の皆さんとの対話集会を行ってまいりまして、今日で59回目になります。

今、市内に七つの支所がありますが、それぞれの支所に設置しております「まちづくり推進協議会」の皆さんと今年度は対話集会を開催させていただいており、今日の永山地区で5回目となります。

皆さんには昨年、「永山まちづくり広場」という組織を立ち上げていただき、郷土愛の醸成、そしてまた郷土史研究家を講師にお招きして、「郷土ながやまを学ぶ集い」を開催をしていただきました。130人を超える方々の参加があったとお聞きしているところです。

また今年は、どのような事業を展開していこうかというような話し合いがされているかと思いますが、ぜひまた来年に向けて、本永山地域の発展また住民の皆さんが安心して暮らしていただくことができるように、いろいろとご意見を出していただければありがたいと思っています。

以上簡単ですが冒頭にあたりましてのあいさつに代えさせていただきます。今日はどうぞよろしくお願ひします。



### 井上会長あいさつ及び活動状況報告

皆さん、こんばんは。

今日は第4回目のまちづくり推進協議会ですが、この会議に先立ちまして、委員の皆様方と市長が対話、懇談をすることとなっております。市長には大変忙しいところありがとうございます。なかなか皆さんと市長が直接お会いして懇談するという機会はありませんので、ぜひまちづくりについて皆さんの忌憚のないご意見やご提言をいただきたいと思っておりますので、よろしくお願ひします。

すでに委員の方々からご提言をいくつかお聞きしておりますので、そちらの方を優先して進めたいと思いますが、まずは私の方から簡単にお話をさせていただきたいと思ひます。昨年に引き続き、今年も会長という立場を仰せ付かり、まだまだ何もできませんが続けさせていただきたいと思ひます。

昨年は公募の方お二人に参加いただいておりましたが、今年は公募の方はいらっしゃいません。昨年とは一部委員が代わっています。昨年の経過をご報告申し上げます。委員の皆さんからいただくご意見は、永山地域全体としてのまちづくりを進めていくために、何かいい提案がないかということであります。永山は広く、人口も4万5千人弱おりますので、各町内会や市民委員会ごといろいろなイベントなどを行っていますが、永山地域全体で統一してイベントなどを行うことはなかなか難しいという状況があります。今年で25回目に

なります「永山屯田まつり」は、始めた頃は40歳代前後の方々が中心となって企画・運営していましたが、その方々も25年経ちますと65歳以上と高齢になってきております。「屯田まつり」の運営に若い方がなかなか参画していただけないという課題がありましたことから、何とか若い方にも参画をいただき、そして永山のまちづくりに、町内会や市民委員会の役員等にも参画いただけるような、そういう若い人を何とか養成していきたいと考えました。

昨年、旭川市は開村120年となりました。旭川村、永山村、神居村が置かれ120年になりましたが、永山の歴史については地域の方々も、特に若い方々はほとんど知らないのではないかと思います、まず永山の歴史を知っていただいて、それを基に永山地域の活性化に繋げていきたいと考え、昨年は永山の歴史を知っていただく事業を進めてまいりました。しかし、なかなか私どもの委員だけで事業を行うことは難しいことから、具体的に実行する他の団体に依頼しようとしたのですが、引き受けていただけるような状況でもありませんでしたので、推進協議会の委員の中から5人を選び、実施していただくこととなりました。また、永山の歴史について専門的に勉強して非常に詳しい方がいらっしゃいましたので、その方に講師として来ていただき郷土史学習講座を開催しました。おかげさまで当初予定した人数よりも非常に多くの方にご参加いただきましたが、若い方には来ていただけませんでした。本来であれば、少しでも若い方に来ていただいて、まちづくりに少しでも興味を持っていただき、リーダー的存在の若い方を見つけたかったところではありますが、この取組も今回1度切りということではなく、引き続き今年も実施していきたいと考えております。協議会での話合いも今年



は3回を超えましたが、昨年度の取組を今年度はどのように拡充させ、そしてまた若い方にどのようにPRをして参画していただくかについて協議しているところです。昨年は協議会を7回ほど開催し、事業の実施団体は数回にわたって本当に夜遅くまで頑張っていたいただきました。今年度もあと1、2回程度、推進協議会を開催して、今年度の取組内容などについて何とかまとめていきたいと考えているところです。

### ～意見交換～

参加者から寄せられた意見と、市長のコメントについてまとめたものを掲載します。  
(以下、参加者の皆様については、敬称を省略させていただきます)

### 市長

井上会長から昨年の取組等も含めてごあいさつをいただきました。

昨年は郷土史の研究という取組を進めていただいたということですが、今年度はどのような取組がいいのかなどのお話や、その他のことも含めて、ご質問やご意見・ご提案もあれば、限られた時間ですがいろいろと意見交換をしたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。

## (1)お祭り広場の整備と常設ステージの設置について

### 桑島

永山に若い人を呼び込むための地域づくりをするために、例えば、「お祭り広場」を整備し、常設のステージを設置できないかと考えています。旭川は音楽が盛んなまちであり、特に永山では陵雲高校、旭大高校、農業高校、永山中学校、永山南中学校、永山西小学校の吹奏楽が有名で、一般では「せせらぎウィンドアンサンブル」や「旭川マミーズバンド」などが地道な活動をしています。こういう人たちが披露する場をつくることできないものかと思います。そのために行政にハード面を整備をしていただいて、私たち地域住民はソフト面を考えていくという官民一体で取り組んでいけないかなと考えています。

### 市長

地域の皆さんからも同じような趣旨の要望がありますが、私もぜひそのようなかたちで整備を進めていければとは思っております。お祭り広場は屯田まつりのときには使っておりますが、普段は駐車場のようになっていますので、暗渠の整備などもしなければいけないと思います。ステージの設置なども含めて、行政と地域の皆さんとどのように役割分担をしながら、お祭り広場の活用をどう図っていくかについての話し合いを進めさせていただいて、どう将来に結び付けていけるかなと考えています。また、吹奏楽の団体の皆さんにもいろいろ参加してもらえそうな仕掛けづくりなども逆にお願ひしながら進めていけたらとも思っています。

## (2)上川総合振興局裏の空き地と旧かみかわ荘の有効活用について

### 塩尻

上川総合振興局の隣に以前道職員の宿泊施設で現在は利用されていないかみかわ荘があります。ここを校外から音楽大行進などに参加したいという学校の宿泊所や合宿所などに使えるようになると非常にいいと思っています。

また、永山地域は農業が中心のまちですが、高齢化が進み、休耕田が多くなってきています。そこで、道と協力して、かみかわ荘を短期の農業体験学習や新規就農者を支援するための宿泊施設などにして、永山や永山の近郊にたくさんある休耕田を有効活用することを考えていただきたいと思います。

### 辻

上川総合振興局裏の空き地については、現在は駐車場と荒れ野原という状況です。道の土地ですので、市は道に働きかける側だと思っておりますが、ぜひ有効活用して、スポーツ団体が合宿することができる場所にしてほしいと思っています。かみかわ荘を合宿所として、空き地に体育館などを建てると、合宿だけではなく大きな大会もできるようになります。ぜひ道の方に市から強力に働きかけてほしいと思います。

### 市長

かみかわ荘は閉鎖されて、もう3年くらいになります。以前、道で後利用について入札を行ないましたが、誰も入札者がいなかったと聞いています。また建物が老朽化して、水道管もほとんど使えない状態になっており、改修するのに億単位のお金がかかるそうです。建て替えた方がいい状態にまで、建物が老朽化しているとも聞いています。本当はもう少し早く後利用が決まっていたと良かったのですが、かみかわ荘も含めて、お祭り広場からずっと広大な敷地の利活用については大変重要な課題だと認識しています。

### (3)「永山屯田まつり」を旭川のお祭りに

#### 浅見

「永山屯田まつり」は今では旭川ではとても有名になり、地域に根付いたお祭りになったと思います。地域では今後もこのお祭りを盛り上げていこうと頑張っていますが、年々、山車が少なくなるなど、いろいろな問題も出てきています。やめてしまうのは簡単ですが、先人から代々受け継いできたこのお祭りを、何とか若い人も交えた中で受け継いでいきたいという思いがあり、旭川の屯田まつりというかたちにしてはどうかと考えております。

お祭りに関わることによって、普段なかなか会えない方々との交流ができます。先輩からいろいろとご協力得ながら、僕らも何かできるということで、お祭りはお互いの協力の結晶です。お祭りというものは、若い人も年配の人も男の人も女の人も、皆で楽しむことができるという部分で、そこからいろいろな交流が生まれ活性化につながっていくと思いますので、永山屯田まつりを旭川のお祭りにしていただけないかなという要望があります。

#### 市長

今年の屯田まつりはイオン旭川永山店の会場は使えなくなり、せせらぎ通りのあんどんの流しもなくなってしまいました。来年はどのようなかたちで開催されるのか私も非常に気になるところです。

また、実行委員の皆さんは私もよく知っている方ばかりで、一年一年歳をとっていきますので、若い人たちにどう入ってもらおうかっていうのは大変な課題です。あさひかわ商工会の若い人たちで、実行委員になってもらえそうな方はいないでしょうか。

#### 浅見

昨年、あさひかわ商工会の青年部長を務めさせていただきました。

メンバーもたくさんいますので、僕がまずお手伝いをさせてもらいながら、地道にそういう流れをつくっていきたいと思っています。

#### 市長

それはぜひ期待していますので、よろしくお願いします。

#### 井上

昨年から浅見さんには実行委員会に入っていて、今年は山車の方の部会長を務めていただきました。この浅見さんを通じて、商工会などのいろいろ

ろな若い方とのつながりをもっていただいて、どんどん若い人たちに参画していただきたいと考えています。

**市長**

それは素晴らしいと思います。

#### (4) 永山パークゴルフ場の整備について

**辻**

パークゴルフは、高齢者にとって体力づくりや健康増進のために手軽にできますが、近くの永山パークゴルフ場は、水の設備もなく、雨が降ると溝ができたり、芝が荒れている状況なので、わざわざ遠くのパークゴルフ場へ行っています。何とか近くで楽しくプレーできるようにならないものかというお話をよく聞きます。皆、維持管理をするためのお金は少しくらいなら払うという気持ちでいますので、環境を整備してほしいと思います。

**市長**

芝生を良好な状態に保つためには散水設備が必要不可欠ですので、昨年、永山パークゴルフ場の地下水脈の試掘調査を行ったのですが、水が出てきませんでした。そこで来年以降にもう少し深く本格的なボーリングを行い、調査をしたいと土木部から聞いています。雨水だけだとしてもいい芝ができませんし、散水施設を設置した市内の他のパークゴルフ場は芝が非常に良好な状態になっていますので、引き続き散水施設の設置に向けて調査していきたいと思います。

#### (5) 永山と東旭川、動物園、上野ファーム、医大を結ぶバス路線の新設などについて

**塩尻**

以前、コミュニティバスが永山の地域内を巡回運行していましたが、東旭川と永山を結ぶバス路線ができればいいと思っています。旭川のバスの多くは、駅前の中心街で乗り換えて、目的地に向かうというかたちになります。観光で旭山動物園に来て、そこから永山の方へ真っ直ぐ行きたいと思っても、バス路線がありません。例えば、永山の16丁目辺りから出発して、永山の駅を通過して、東旭川の駅へ行き、動物園を終点にすると、人の動きがもっとできると思いますので、定期的に常時永山と東旭川とを横断できるようなバス路線の開拓にぜひ取り組んでいただきたいと思います。

それから、今、旭山動物園から上野ファームへ行くという観光客が多いので、その間を馬車など何か観光客の心をくすぐるような乗り物で結ぶと楽しいと思いますし、またバスも上野ファームから出て永山を通る路線があると便利になると思います。

**市長**

夢のあるお話をありがとうございます。

バスにつきましては、永山、東旭川に限らず、全市的に環状線をまわる路線

がなく、中心部に寄ってから周辺に向かうという路線になっています。以前、環状線をまわる路線の実験をワンコインで行ったこともありましたが、なかなか定着しませんでした。

残念ながら市でバス事業を行っていないので、民間事業者にお願いをすることになってしまうのですが、やはり採算が見込めない路線については難しい状況です。しかし、このお話についてはバス会社に要望させてもらいたいと思います。

馬車については、東旭川の桜岡に「クラークホースガーデン」がありますから、馬車をまわしてくれると面白いですね。

### 井上

以前から、永山駅前から環状線を通り医大まで行く路線を希望していました。それを実現させるためには、このコミュニティバスを成功させなければならないということから、私たち市民委員会も乗車率を上げるために努力してきましたが、乗車率はどんどん下がっていきました。バス会社の方も厳しい状況の中、頑張って運行を続けてくれていたのですが、残念ながら運行継続を断念せざるを得ませんでした。

路線バスについては、不採算路線に対して、市や道、国から補助がありますが、財政状況が厳しい中、これが増えるのは大変なことだと思います。

### 市長

市から毎年何百万も補助している不採算路線がいくつかあります。新規路線の開拓はどれだけ需要が見込めるかということが非常に大事ですが、ご意見のような路線があると便利だとは思っています。

## (6)「冬の生活道路を守る協働意識の向上」事業について

### 葛西

永山第三地区市民委員会では、昨年「冬の生活道路を守る協働意識の向上」という道路除排雪に関わる事業に1年間取り組みました。この事業は昨年度に引き続き今年度も市の「市民の企画提案による協働のまちづくり事業」として採択されました。

地域では生活道路の除排雪に関する苦情がとて多い状況でしたので、何とか自分たちの手で少しでも減らそうという目的から始めた取組です。昨年は実行委員を17町内から集め、啓蒙普及部、排雪量削減部、パトロール部という三つの部に分け、啓蒙普及部についてはパンフレット作成や説明会開催などを行い、排雪量削減部では道路への雪出し対策として、民間の空き地を借りて雪置き場としたところ、交差点の雪はとて少なくなりました。その雪捨て場に融雪剤を撒き、溜まったごみの掃除も行いました。またパトロール部では、除雪センターの職員と一緒にパトロールを行い、それにより道路への雪出しも少なくなりました。

この取組を市内全域に広め、市の除雪費を地域の住民と一緒に経費節減することができると思います。空き地を借りて雪捨て場とすることでかなりの経費節減になると思います。

来年度からは市の補助を受けずにこの事業を行おうと考えているところで。そこで、できれば融雪剤の費用は市で持つてほしいと思います。

#### 市長

永山第三地区市民委員会の皆さんのこの取組にはとても感謝しております。また各地区の市民委員会にこの活動が広がっていくと素晴らしいと期待しているところです。非常に先進的なモデル事業を行っていただいていますので、他の地域にもこれが広がっていくように私たちも頑張っていきたいと思っております。

また、今後は皆さんの方で独自に取り組んでいかれることを考えていただいているのであれば、融雪剤などの最低限必要な部分を何とか市で持つことは考えていかなければいけないと思います。

#### (7) 農業を守るために旭川市独自の農業施策が必要

##### 山川

私はこの推進協議会で、地域活性化の夢を描きながら参加しています。また、一方では地域に人がいなくなるのではないかという危機感も持っています。特に今回のTPPにかかわり、国の政策をそのまま旭川に適用してしまうと、旭川の農業経営の3分の1は成り立たず、農業を辞めなければならない人が出てきます。そうなると活性化の夢どころではなくなり、現実問題をどう受け止めるのかということになってしまいます。今、地域では高齢化が進み、担い手が少ない状況の中、高齢者が必死で頑張っています。今の国の政策はそういう人たちにもう辞めなさいとリタイアを促すようなものですので、それはやはり歯止めをかけてほしいと思います。

私は旭川市の農業政策にすごく期待をしています。国の政策も分かりますが、旭川には旭川の特長、地域性、農業の形態など独自の部分があると思いますので、旭川市独自の政策展開をしてほしいと思います。

また、規模を拡大することで確かに担い手はそこに確保できるかもしれませんが、人がいなければ地域が成り立たないという状況になります。そのような両側面の部分をきちんと考えた農業政策も必要です。今までも幾つか旭川独自の農業政策はあったと思いますが、そのような旭川独自の揺るぎない足腰の強い政策をきちっと打ち出して、その方向に引っ張ってほしいと思います。

#### 市長

私もTPPの件は反対の立場で、明後日から上京して、上川、空知、宗谷、留萌、網走の五つの地域の皆さんと一緒に反対してきます。旭川を含めて北海道の農業が守られ、生き残っていくことができるように、できることは最大限やっていきたいと思っています。旭川の農業がなくなってしまうと本当に大変なことになってしまいますので、まちづくりの根幹に関わる課題という思いでやっていきたいと思っています。

#### (8) まちづくり推進協議会の今後と地域住民の声が施策に反映されるための



## 仕組みづくりについて

### 山川

まちづくり推進協議会は今後どのように展開され、この推進協議会での地域住民の声は市の政策としてどのように生かされていくのかということが気になる場所です。地域の声を吸い上げるためにこのような場も必要ですが、地域の代表の議員が地域住民の声を政策に反映できるようなかたちがあるといいと思っています。旭川市議会の下に地域議会のようなものをつくって、どんどん地域の声が吸い上げられていき、その声をまとめたものが施策に反映できるような流れができるといいと思います。

このような場に集まる人は限られていますので、もっと広く地域住民の声を聴けるような場があると、もっと市民の声が施策に反映されると思いますし、そのような場同士での横のつながり、連帯という部分も生まれてくると一層市政の中に反映されていく力になると考えています。

### 市長

まちづくり推進協議会については、今以上にもっともっと充実していきたいということと、地域の皆さんに協議会をもっと認知してもらう取組をしていかなければいけないと思っています。

また、協議会では地域住民の安心など地域に関するいろいろなご意見が出され、議論されて、それが支所を通じて私たちのもとへ届くという流れになっています。もちろん、協議会と議員との関わりは持っていて結構ですし、議員がいない地域もありますし、地域により協議会と議員との関わり方も違いますので、必ずこういうふうにあるべきだということは今のところは考えていません。今後、何かルールが必要であれば検討してもいいのかなと思います。ご意見等がいろいろなかたちで私たちのところや議会に届くための工夫については全く制約するものはありません。永山には議員が5人いらっしゃいますので、それは大きな発言力になっていくと思います。協議会の皆さんも積極的に議員を活用していただくというスタイルをとっていただいてもいいのかなと思っています。

### 井上

永山の5地区の市民委員会で構成する「永山地区市民委員会連絡協議会」という組織があり、市に対しての要望・陳情などにつきましては、5人の地域の市議会議員に協議会として提案し、その内容を知っていただ上で、市との要望面談の際に5人の議員全員に同席していただいております。ですから5人の議員は地域のことについてはかなり認識しているはずですが、機会があればこの協議会にも地域の議員に出席していただいて、いろいろとお話を聞いてもらうことも必要だと思いますので、今後の課題としてそれを提案したいと考えています。

私は「旭川地域自治検討会議」のメンバーとして参加しています。この会議は、より暮らしやすい地域づくりの体制のあり方や住民自治について話合うのですが、まずは市職員が地域のことを隅々まで把握することがとても重要だと思っています。

### 市長終わりのあいさつ

約1時間という短い時間でしたが、いろいろと貴重なご意見をいただき、本当にありがとうございました。

これまでにいろいろな機会を通じて、ご要望やご提案をいただいていた事項について、今日改めて再認識をさせていただいたものもごさいます。いずれも課題意識を持って取り組んでいかなければならないことばかりであります。本当にボランティアとしてこのような協議会にご参加いただいていることに対して、本当に感謝しなければなりません。どうぞ今後とも引き続きお力添え賜りますようお願い申し上げたいと思っておりますし、また永山地域を元気にしていただきたいと思っています。

私も元々は永山保育所、永山小中学校とずっと永山に住んでいましたが、暫く離れており、今夏から永山の住民に戻りましたので、またよろしく願い申し上げたいと思います。